

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公開番号】特開 2009-55337 (P2009-55337A)
【公開日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報 2009-010
【出願番号】特願 2007-220040 (P2007-220040)
【国際特許分類】

H 0 4 R 9/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 9/04 1 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 28 日 (2009.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、
前記ボビンの外周を取り巻くコイルと、
を備えることを特徴とするボイスコイル。

【請求項 2】

前記ボビンが、コイルの巻回方向に対して略垂直に繊維方向を有することを特徴とする
請求項 1 に記載のボイスコイル。

【請求項 3】

前記木製シートの厚さが 0.06 ~ 0.6 mm であることを特徴とする請求項 1 または
2 に記載のボイスコイル。

【請求項 4】

前記ボビンが、前記木製シートの裏面に貼り付けられた補強シートを備えることを特徴
とする請求項 1 または 2 に記載のボイスコイル。

【請求項 5】

前記補強シートは紙であることを特徴とする請求項 4 に記載のボイスコイル。

【請求項 6】

前記補強シートの厚さが 0.03 ~ 0.1 mm であることを特徴とする請求項 4 に記載
のボイスコイル。

【請求項 7】

天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、
前記ボビンの外周を取り巻くコイルと、
前記ボビンの一端に接続された振動板と、
前記コイルに磁氣的に接続された磁気回路と、
を備えることを特徴とするスピーカ。

【請求項 8】

前記ボビンが、コイルの巻回方向に対して略垂直に繊維方向を有することを特徴とする
請求項 7 に記載のスピーカ。

【請求項 9】

前記木製シートの厚さが 0.06 ~ 0.6 mm であることを特徴とする請求項 7 または

8 に記載のスピーカ。

【請求項 10】

前記ボビンが、前記木製シートの裏面に貼り付けられた補強シートを備えることを特徴とする請求項 7 または 8 に記載のスピーカ。

【請求項 11】

前記補強シートは紙であることを特徴とする請求項 10 に記載のスピーカ。

【請求項 12】

前記補強シートの厚さが 0.03 ~ 0.1 mm であることを特徴とする請求項 10 に記載のスピーカ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このように、従来から用いられる材料には、それぞれ一長一短があり、高い伝搬速度を持ち、軽量で、強度が強く、且つ振動を高効率で伝達可能なボイスコイル及びスピーカは得られていない。

【特許文献 1】特開 2002 - 300697 号公報

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本願発明の態様によれば、天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、ボビンの外周を取り巻くコイルと、を備えるボイスコイルが提供される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本願発明の他の態様によれば、天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、ボビンの外周を取り巻くコイルと、ボビンの一端に接続された振動板と、コイルに磁氣的に接続された磁気回路と、を備えるスピーカが提供される。